

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2295400010		
法人名	社会福祉法人陽翔会		
事業所名	グループホームひざり(東ユニット)		
所在地	静岡県島田市金谷代官町802番地の16		
自己評価作成日	令和3年9月1日	評価結果市町村受理日	令和3年10月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;ji_gyosyoCd=2295400010-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;ji_gyosyoCd=2295400010-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和3年9月23日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

法人基本理念出ある「その人らしく～明るく健康で豊かな高齢期の生活づくり」に基づき、ご入居者が安全に安心して生活を送っていただくことができるよう、個々のニーズに合わせた支援を常に心掛けております。  
日々のケアの中で気付いたことについて分析し、「なぜ？」そのような行動をされるのかを考え、またその方の「良い面」に注目し、「工夫するケア」を行うようにしています。コロナ禍でイベントや外出が軒並中止、縮小となり、活動がしにくくなってはいますが、このなかでもやれることを探してご入居者に関わっていこうと工夫しています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

コロナ禍で外出や地域とのつきあいが縮小されてしまい、人気のないところを目指してのドライブ程度に留まっていることが職員の目下の悩みですが、納涼祭や敬老会を全体からユニット開催に縮小したことで和やかさとともにユニットカラーが倍増する効用も生れています。家族や地域の皆さんは事業所に協力的で、会社経営者は業務を通じて大量仕入れしたマスクの一部を譲ってくださったり、また端切れなどの必要材料をかき集めて手作りマスクを100枚余届けてくださった家族、農家からはお米やお茶が届いています。また併設事業所があることでのメリットは大きく、現在浴槽をまたげなくなった7名が中間浴を使わせてもらっています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「その人らしく～明るく健康で豊かな高齢期の生活づくり」を法人理念とし、職員一人ひとりが理念に基づいた介護を行うよう取り組んでいる	理念は玄関に掲示して外部者の目にも触れるようにしています。採用時には直接説明をおこない、年度初めの全体研修で改めて確認しており、ケアを考えると「その人にとってどうなのか」といった視点ももっている事から管理者は浸透を感じています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	ドライブ、散歩、買い物、美容院、飲食店への外出や地域のボランティアの方々の積極的な受入を通じて地域との交流を図っていたが、新型コロナウイルスの流行により、ボランティアの受入や外出ができていない	地元の中学生の受入れの発展系として保育園に挨拶に出向いていた矢先にコロナ禍となり、現在は従来のボランティアの訪問も途絶えています。これまでのつきあいから、隣家の住人が草刈りに訪れてくださったり、ご縁のあった農家からは茶や米も届いています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員や高齢者あんしんセンターの職員、地区の防災委員と情報交換を行う中で、地域にお住まいの認知症高齢者の相談窓口的な役割が周知されていると感じる		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルスの流行により、書面開催としているが、定期的開催(偶数月)し、案内等を直接持参して配布しご意見等を伺っている	コロナ禍となり人の集まらない書面開催としています。平均介護度や行事といった2ヶ月の運営情報を書面化してメンバーに届け、その場で意見を聴取、その後議事録にまとめるという方法としています。意見はあまりないものの、ねぎらいの言葉をかけてもらっています。	FAXの返信シートや返信はがきを導入するなど、意見を確実にもらえるよう何らかの工夫を期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を通じて、積極的に取り組んでいる	島田市からは研修案内や県の告知が転送され、インターネットを通じて情報を得ています。コロナ対策の一環として消毒薬、マスクの配布があり、またワクチン接種においても法人内の大きな施設のタイミングに合わせて一緒に実施してもらっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	新任研修や毎月行っている内部研修で、職員倫理の向上とモラルの徹底を意識するよう取り組みを行い、身体拘束廃止の推進に向けた介護を行うようにしている	現在3要件に係る利用者はなく、「身体拘束の適正化に関する指針」に照らして身体拘束廃止委員会を順当に3ヶ月に1度開催しています。新採では入職のオリエンテーションとして管理者が身体拘束廃止に係る説明をして記録も残していません。	委員会の協議内容は可能な限り現場に即した事例検討としていくことを期待します(例.スピーチロックの是正)。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	必ず定期的に研修を行い、職員倫理、権利擁護を学ぶ機会を設け、虐待防止に努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	関連施設の相談員等と情報交換・共有を図り、制度の活用が必要と思われる方に対して適切なアドバイスができるように努めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約や制度改定に伴う変更等、理解しやすい言葉、表現を使う等、丁寧な説明に努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、気兼ねなくご意見をご記入いただけるようにしている。また、推進会議の際にご意見をいただくこともあるため、出席されていないご家族には、議事録を配布している	家族は事業所に協力的で、特段クレームは入っていません。例えば会社経営者は業務を通じて大量仕入れしたマスクの一部を譲ってくださったり、また端切れなど必要材料をかき集めて手作りマスクを100枚余届けくださった家族もいます。	居室担当者が毎月シートで本人の様子を伝えていますが、コロナ禍で面会もままならない状況のため、写真や動画が家族に届くよう期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員面談を行い、その中で意見や考えを聞き反映している。全体研修においても意見を述べやすい雰囲気作りに努めている	ユニット毎に職員を分けていることで小さなチームができて協力体制が敷かれており、普段だけでなく公のユニット会議の場でも「言いたいことがいえる」状況にあります。また日勤は配置を増やし、各ユニットプラス1にして職員の負担を軽減しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面談時において、職員の意見・悩みを聴く機会を設け、働きやすい環境となるよう努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	「基本介護チェック表」を作成し、それを基に自己評価を行い、上長が確認をしている。それぞれの能力や経験、特性を踏まえながら、内部研修の内容について検討している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区のケアカフェへの定期的な出席や計画作成担当者は島田市の「ケアマネットしまだ」に入会し、情報交換や勉強会に参加している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に可能な限り、ニーズ・要望を伺い、アセスメントを通じてより良いケアサービスが提供できるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時や入居時に必ずご家族からもお話を伺い、入居後には積極的に事業所からご様子や状態等をお伝えするようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状態や状況等を踏まえ、ご本人やご家族のニーズを把握し、一人ひとりが必要とされるサービスが提供されるように支援を心掛けている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の視点から生活を考えるよう心掛けている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ過において、面会等が制限されているが、定期的にご様子をお知らせするお手紙の送付、また、電話連絡をこまめに行い、関係作りが途切れないよう努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様やご友人など、面会にきていただきやすい雰囲気や環境となるよう心掛けているが、昨年度より面会制限や外出の機会が減少している	令和2年11月から面会制限を継続していますが、消耗品補充をはじめ返信シートなども持参くださる家族が大半で、玄関先で顔をみていくケースもあり、「会えて」います。アイパットなどの機器は最近やっと揃ったという段階で、リモート面会は未実施です。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係性に配慮した関わり、またトラブルとならないよう必要な際には仲裁をしている。また、孤立してしまわないよう心掛けている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ、支援するよう努めている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族よりお聴きしたり、ご本人と接することで意向を把握するよう努めている	ユニットで職員を固定するほか居室担当者も置いて声を掴み、生活の習慣の把握には24時間シートも導入しています。書道師範だった人が指南くださったり、語学に堪能な人は各国の挨拶を教えてください、有用感を引き出す機会を努めてつくっています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のアセスメントや入居後においても、ご本人、ご家族からの聞き取りの中で把握できるようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録に残し、ご本人の生活やケアが途切れることのないよう職員間で情報共有に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のケアやアセスメントで得た情報をユニット会議等で共有・検討し、介護計画に反映させている	カンファレンスで居室担当者が現状報告や気づきを発表のうえ話し合いに至り、計画作成担当者兼介護支援専門員がその内容をベースにモニタリングシート及び介護計画書を作成しています。サービス担当者会議にはコロナ禍前から家族を招いてはいません。	計画作成担当者兼介護支援専門員は1つのユニットに介護職員として配属されていますので、0.5ずつの勤務となると現場把握がさらに進むと思います。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録し、情報の共有を図るとともに気づきや工夫などはユニット会議で検討している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の思考や生活歴に鑑み、できる限り対応するよう努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設周辺の社会資源を活用していく中で、地域との関わりを大切にしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族が希望されるかかりつけ医との医療連携が適切に行われ、必要な医療が滞りなく受けられるよう努めている	在宅の頃からのかかりつけ医を全員が継続しています。家族が同伴することもあります。通院介助は主に管理者がおこない、コロナ対応として処方薬を増やして回数を減らす等医師も工夫くださっています。医療記録は介護経過記録のソフトの中に入れていきます。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の配置はないが、状態の変化や急変の際の受診時に、必要な情報提供が適切に行われるよう、日々の状態把握に努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、病棟の看護師やソーシャルワーカーとの情報交換を密に行うことで、退院時等のスムーズな受け入れができるよう努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所において、対応出来ること出来ないことを丁寧に説明し、重度化した場合の対応や今後の生活が不安を取り除くよう努めている	看取りはおこなっていません。「重要事項説明書」「ご入居者様の状態報告と今後の治療について」といった書面を通じて重度化や看取りの意向確認をおこなっています。地域関係機関と連携できているため、重度化となった際の移設はスムーズです。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを整備し定期的な研修を通じて適切な対応が行えるようにしている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルに沿って対応している。各災害を想定した定期的な訓練を実施し、被災状況に応じて関連施設との連携を図っている。	4月に夜間火災との設定で実施済みで、10月には地震想定の後で水害対策も予定しています。備蓄は3日分ですが、日々ある食材のローリングストックを含めると倍近くあります。設備業者の点検日に併せての実施のため水消火器の取扱いは全職員がベテランです。	次の3点を期待します。①近隣にある法人内の施設との合同訓練を含みBCP計画の策定を進める ②感染症対策の訓練プログラム策定 ③火災通報装置や避難誘導など職員の体験メニューの洗い出し

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員間で特に注意し対応している。内部研修においても、必ずテーマとして取り上げ定期的に振り返り常の関わりに生かしている	名字が同じ場合はファーストネームとなっておりませんが、「～さん」と呼称することとしています。管理者からは「皆さんのお家におじゃましている姿勢をもちましよう」と号令をかけ、ユニットリーダーが現場で目配りすることで倫理感を育てています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定の尊重に配慮し、出来る限り、ご本人の思いをお聴きするよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望や体調等を考慮し、ご本人のペースに合わせて過ごしていただけるよう努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりのありたい姿を実現できるよう、衣類等の選択においても、その人らしい姿でいられるよう支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る限り準備や片付けなど、入居者と職員が共同で行うようにしている	義歯や飲み込みの具合は考慮しつつも、高齢者向けの煮すぎはなく、ごく普通の家庭的な献立が提供され、昼食は職員も利用者の間に入って食卓を囲んでいます。お彼岸にはおはぎをつくるなど行事食も盛んで、腕まくりで励む利用者もいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせて食事形態を変更したり、食事量、水分量の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりに合った口腔ケアを行っている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別の排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせた対応をしている	車いす5名の内2名は二人での介助が必要ですが日中おむつはおらず、排泄チェック表もつけて「できるだけトイレで」が推進されています。本人の気持ちよさとともに家族の経済的負担も検討して、パッドの大きさや種類が職員間で協議されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取やトイレ誘導、運動を心掛け予防に努めながら、必要時にはそれぞれのかかりつけ医と連携し、一人ひとりに沿った処方を受けている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の体調や身体状況に配慮しながら、その人に合わせた入浴が出来るよう支援している	お湯は一人ひとり入れ替えているため、入浴剤は「今日はどれにしますか？」と選んでもらえています。その人にとって馴染みの浴剤を手にとる人、有名な温泉地の名称を覚えていて選ぶ人、さまざまです。また冬至には袖を浮かべています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一律の起床時間や就寝時間を設けず、ご本人の生活リズムを尊重し、安心して休むことが出来るよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時の情報共有を必ず行い、薬の内容についても変更等があれば受診結果に加えて情報共有を徹底している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や趣味嗜好に合わせた役割、気分転換が行えるように努めている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	日常的な散歩やごみ捨てなど利用者とともに出来る限り行うようにしている。コロナの影響により、現在は行っていないが、ご家族の希望による外出についても支援している	遠出はなくなり、人気のない場所を目指しての近場のドライブと、気候のよい日の散歩に留まっています。日限地蔵尊など散歩コースは体力や意向に応じて幾つかあり、ユニット毎にプラス1の配置なことからマンツーマンで時間をずらして順番におこなっています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	通常は施設で管理しているが、ご本人・ご家族から要望がある場合には、適切にご本人が管理できるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居後においても今までの関係が継続できるよう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある花や飾り物等を楽しんでいたことで心地良い環境となるよう配慮している	「臭うね」「そろそろ…」と感覚だった換気は常に開放する箇所を設けるほか、1時間に1回の定期でおこなっています。拭き掃除も朝のみから「昼もと」増やしています。またイガつきの栗をなど、趣のある職員が何気ない季節を持ち込んで目を愉しませています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内にはソファを配置するなど、空間を工夫し、それぞれが居心地の良い場所となるように心掛けている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室空間については、ご本人にとって馴染みのある家具や愛用品を少しでも持参していただけるようご家族の協力を仰ぎ、居心地よく過ごすことのできる空間作りに務めている	「就寝中の、ベッドからの起き上がりにおける動線確保」といった見直しは、随時居室担当者を中心におこなっています。孫の写真に名前を呼びかける人、家族の寄せ書きを壁に飾り眺める人、思い思いにコロナ禍で会えない家族をしのんでいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者一人ひとりが安全に生活していただけるにはどうしたら良いか考慮し、環境を整備するよう心掛けている		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400010		
法人名	社会福祉法人陽翔会		
事業所名	グループホームひざり(西ユニット)		
所在地	静岡県島田市金谷代官町802番地の16		
自己評価作成日	令和3年9月1日	評価結果市町村受理日	令和3年10月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;ji_gyosyoCd=2295400010-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;ji_gyosyoCd=2295400010-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和3年9月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人基本理念出ある「その人らしく～明るく健康で豊かな高齢期の生活づくり」に基づき、ご入居者が安全に安心して生活を送っていただくことができるよう、個々のニーズに合わせた支援を常に心掛けております。  
日々のケアの中で気付いたことについて分析し、「なぜ？」そのような行動をされるのかを考え、またその方の「良い面」に注目し、「工夫するケア」を行うようにしています。コロナ禍でイベントや外出が軒並中止、縮小となり、活動がしにくくなってはいますが、このなかでもやれることを探してご入居者に関わっていこうと工夫しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍で外出や地域とのつきあいが縮小されてしまい、人気のないところを目指してのドライブ程度に留まっていることが職員の目下の悩みですが、納涼祭や敬老会を全体からユニット開催に縮小したことで和やかさとともにユニットカラーが倍増する効用も生れています。家族や地域の皆さんは事業所に協力的で、会社経営者は業務を通じて大量仕入れしたマスクの一部を譲ってくださったり、また端切れなどの必要材料をかき集めて手作りマスクを100枚余届けてくださった家族、農家からはお米やお茶が届いています。また併設事業所があることでのメリットは大きく、現在浴槽をまたげなくなった7名が中間浴を使わせてもらっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「その人らしく～明るく健康で豊かな高齢期の生活づくり」を法人理念とし、職員一人ひとりが理念に基づいた介護を行うよう取り組んでいる		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ドライブ、散歩、買い物、美容院、飲食店への外出や地域のボランティアの方々の積極的な受入を通じて地域との交流を図っていたが、新型コロナウイルスの流行により、ボランティアの受入や外出ができていない		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員や高齢者あんしんセンターの職員、地区の防災委員と情報交換を行う中で、地域にお住まいの認知症高齢者の相談窓口的な役割が周知されていると感じる		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルスの流行により、書面開催としているが、定期的開催(偶数月)し、案内等を直接持参して配布しご意見を伺っている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を通じて、積極的に取り組んでいる		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	新任研修や毎月行っている内部研修で、職員倫理の向上とモラルの徹底を意識するよう取り組みを行い、身体拘束廃止の推進に向けた介護を行うようにしている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	必ず定期的に研修を行い、職員倫理、権利擁護を学ぶ機会を設け、虐待防止に努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	関連施設の相談員等と情報交換・共有を図り、制度の活用が必要と思われる方に対して適切なアドバイスができるように努めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約や制度改定に伴う変更等、理解しやすい言葉、表現を使う等、丁寧な説明に努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、気兼ねなくご意見をご記入いただけるようにしている。また、推進会議の際にご意見をいただくこともあるため、出席されていないご家族には、議事録を配布している		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員面談を行い、その中で意見や考えを聞き反映している。全体研修においても意見を述べやすい雰囲気作りに努めている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面談時において、職員の意見・悩みを聴く機会を設け、働きやすい環境となるよう努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	「基本介護チェック表」を作成し、それを基に自己評価を行い、上長が確認をしている。それぞれの能力や経験、特性を踏まえながら、内部研修の内容について検討している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区のケアカフェへの定期的な出席や計画作成担当者は島田市の「ケアマネットしまだ」に入会し、情報交換や勉強会に参加している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に可能な限り、ニーズ・要望を伺い、アセスメントを通じてより良いケアサービスが提供できるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時や入居時に必ずご家族からもお話を伺い、入居後には積極的に事業所からご様子や状態等をお伝えするようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状態や状況等を踏まえ、ご本人やご家族のニーズを把握し、一人ひとりが必要とされるサービスが提供されるように支援を心掛けている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の視点から生活を考えるよう心掛けている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ過において、面会等が制限されているが、定期的にご様子をお知らせするお手紙の送付、また、電話連絡をこまめに行い、関係作りが途切れないよう努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様やご友人など、面会にきていただきやすい雰囲気や環境となるよう心掛けているが、昨年度より面会制限や外出の機会が減少している		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係性に配慮した関わり、またトラブルとならないよう必要な際には仲裁をしている。また、孤立してしまわないよう心掛けている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ、支援するよう努めている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族よりお聴きしたり、ご本人と接することで意向を把握するよう努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のアセスメントや入居後においても、ご本人、ご家族からの聞き取りの中で把握できるようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録に残し、ご本人の生活やケアが途切れることのないよう職員間で情報共有に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のケアやアセスメントで得た情報をユニット会議等で共有・検討し、介護計画に反映させている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録し、情報の共有を図るとともに気づきや工夫などはユニット会議で検討している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の思考や生活歴に鑑み、できる限り対応するよう努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設周辺の社会資源を活用していく中で、地域との関わりを大切にしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族が希望されるかかりつけ医との医療連携が適切に行われ、必要な医療が滞りなく受けられるよう努めている		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の配置はないが、状態の変化や急変の際の受診時に、必要な情報提供が適切に行われるよう、日々の状態把握に努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、病棟の看護師やソーシャルワーカーとの情報交換を密に行うことで、退院時等のスムーズな受け入れができるよう努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所において、対応出来ること出来ないことを丁寧に説明し、重度化した場合の対応や今後の生活が不安を取り除くよう努めている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを整備し定期的な研修を通じて適切な対応が行えるようにしている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルに沿って対応している。各災害を想定した定期的な訓練を実施し、被災状況に応じて関連施設との連携を図っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員間で特に注意し対応している。内部研修においても、必ずテーマとして取り上げ定期的に振り返り常の関わりに生かしている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定の尊重に配慮し、出来る限り、ご本人の思いをお聴きするよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望や体調等を考慮し、ご本人のペースに合わせて過ごしていただけるよう努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりのありたい姿を実現できるよう、衣類等の選択においても、その人らしい姿でいられるよう支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る限り準備や片付けなど、入居者と職員が共同し行うようにしている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせて食事形態を変更したり、食事量、水分量の把握に務めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりに合った口腔ケアを行っている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別の排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせた対応をしている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取やトイレ誘導、運動を心掛け予防に努めながら、必要時にはそれぞれのかかりつけ医と連携し、一人ひとりに沿った処方を受けている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の体調や身体状況に配慮しながら、その人に合わせた入浴が出来るよう支援している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一律の起床時間や就寝時間を設けず、ご本人の生活リズムを尊重し、安心して休むことが出来るよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時の情報共有を必ず行い、薬の内容についても変更等があれば受診結果に加えて情報共有を徹底している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や趣味嗜好に合わせた役割、気分転換が行えるように努めている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な散歩やごみ捨てなど利用者とともに出来る限り行うようにしている。コロナの影響により、現在は行っていないが、ご家族の希望による外出についても支援している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	通常は施設で管理しているが、ご本人・ご家族から要望がある場合には、適切にご本人が管理できるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居後においても今までの関係が継続できるよう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある花や飾り物等を楽しんでいただくことで心地良い環境となるよう配慮している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内にはソファを配置するなど、空間を工夫し、それぞれが居心地の良い場所となるように心掛けている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室空間については、ご本人にとって馴染みのある家具や愛用品を少しでも持参していただけるようご家族の協力を仰ぎ、居心地よく過ごすことのできる空間作りに務めている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者一人ひとりが安全に生活していただけるにはどうしたら良いか考慮し、環境を整備するよう心掛けている		